

第1回 東京都再犯防止推進協議会実務者会議 結果概要

【令和2年5月28日（木曜日）～同年6月10日（水曜日）実施】

協議事項	1 東京都若者総合相談センター「若ナビα」における取組について 「若ナビα」の取組や相談事例を記載した資料をお読みいただき、意見提出をお願いしました。	2 再犯防止に関する研修会について 研修会企画案を配付し、講座のテーマ等に係る希望について意見提出をお願いしました。	新型コロナウイルスの感染拡大の影響について 協議事項に関することに限らず意見提出をお願いしました。
「東京都再犯防止推進計画」における重点課題	3 非行の防止・学校と連携した修学支援等	5 民間協力者の活動の促進、広報・啓発活動の推進等	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 困難を抱える若者が犯罪に手を染めないようにするため、また、非行歴・犯罪歴のある者の立ち直りのためには、あらゆる機会に様々な相談機関を案内することや、支援者・支援機関と本人とが関われる状況づくりが必要である。そうした支援機関の一つとして若ナビαを活用できるとよい。 ・ 「若ナビα」と他の支援機関・団体等とが連携・協力して、ネットワークを構築し、“つなげる”支援を行っていくことが期待される。 などの意見が寄せられました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ かつて非行や犯罪に手を染めたものの、相談・支援機関の協力により一社会人として立ち直り、社会生活を営んでいる方やその支援者によるシンポジウムや講演等があると良い。 ・ 最近の犯罪情勢を踏まえ、増えている非行・犯罪形態やその要因について学ぶ機会があると良い。 ・ 刑の一部執行猶予制度の出所者が増えているため、薬物依存について、取り上げていただきたい。 などの意見が寄せられました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内で実施している再犯防止のためのプログラム（特にグループワーク）や、非常に大きな効果を持つ自助グループによる仲間カウンセリングが実施できないなどの影響が生じている。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、刑務所出所者等の就労を巡る情勢が悪化している時期だからこそ、地域の実情に応じた再犯防止施策の推進が図られるべきである。 などの意見が寄せられました。